

春日山地域における既存施設の活用構想

令和7年7月

上越市

— 目 次 —

第1章	活用構想概要	1
1.1.	本活用構想の目的.....	1
1.2.	本活用構想の基本的な考え方.....	2
第2章	春日神社周辺の活用	7
2.1.	現況の把握.....	7
2.2.	整備の基本方針.....	8
2.3.	整備機能.....	8
第3章	春日山神社下駐車場の活用	9
3.1.	現況の把握.....	9
3.2.	整備の基本方針.....	10
3.3.	整備機能.....	10
3.4.	図面・パース.....	14
3.5.	駐車場飽和対策の検討経緯.....	15
第4章	愛宕谷公園の活用	23
4.1.	現況の把握.....	23
4.2.	整備の基本方針.....	23
4.3.	整備機能.....	24
4.4.	図面・パース.....	28
第5章	虎御前の墓周辺の活用	30
5.1.	現況の把握.....	30
5.2.	整備の基本方針.....	30
5.3.	整備機能.....	30
5.4.	図面・パース.....	31
第6章	御前清水周辺の活用	32
6.1.	現況の把握.....	32

6.2.	整備の基本方針.....	32
6.3.	整備機能.....	32
6.4.	図面・パース.....	33
第7章	林泉寺駐車場等周辺の活用	34
7.1.	現況の把握.....	34
7.2.	図面・パース.....	38
第8章	春日山駅前周辺の活用	39
8.1.	現況の把握.....	39
8.2.	整備の基本方針.....	40
8.3.	整備機能.....	40
8.4.	図面・パース.....	44

※本活用構想に記載されている遺構の名称については、今後、整理・検討を行う予定

第1章 活用構想概要

1.1. 本活用構想の目的

上越市では、地域の歴史や文化を観光資源として磨き上げることにより、観光の活性化を図るとともに、持続可能な地域資源として後世に伝承するため、令和6年4月に「上越市通年観光計画」を策定した。

当該計画の春日山地域の施策では、上杉謙信公や春日山城をいかした観光コンテンツ等の創出又は魅力向上、快適性の向上による滞在時間の増加を目指すこととしている。

本活用構想では、別途策定した「春日山地域観光コンテンツ計画※」を踏まえ、春日山城跡に関連する施設、公共施設（以下、「既存施設」という）の活用構想を定める。

なお、各施設の整備に当たっては、関係者との協議や、財源及び優先順位の検討により実施を判断する。

※「上越市通年観光計画」を踏まえ、春日山地域の観光に関する現状調査や市場調査を行うほか、結果を基にメインターゲットの設定や、誘客に繋がる観光コンテンツ等の検討を行うとともに、コンテンツを展開する施設や整備内容等を整理し、とりまとめた計画

1.2. 本活用構想の基本的な考え方

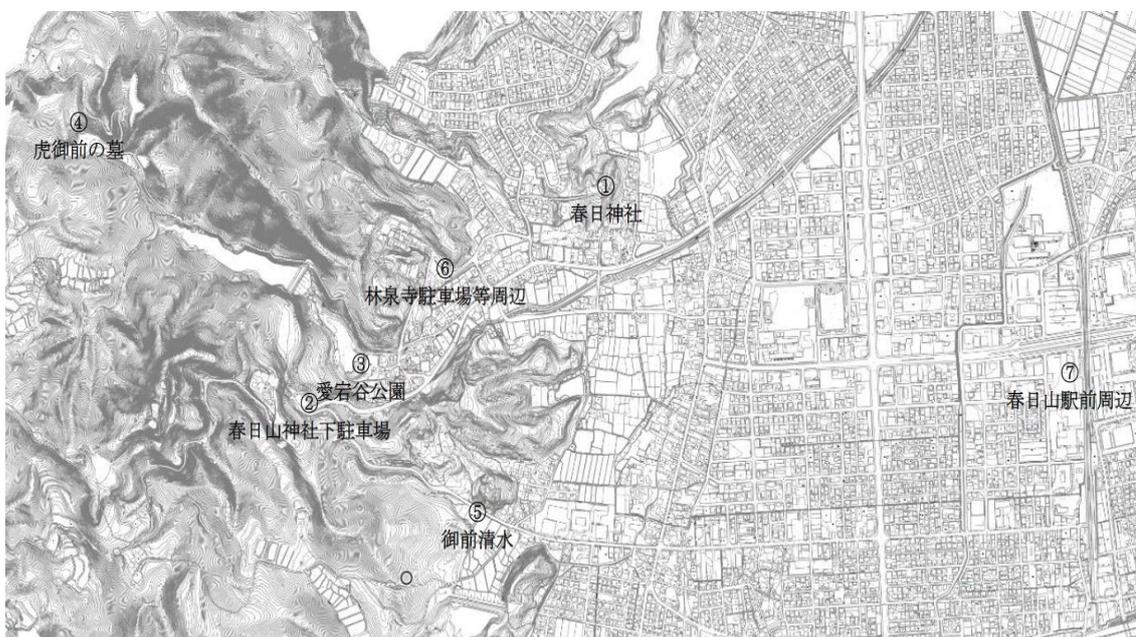
1.2.1. 本構想の対象施設の考え方

本構想は、春日山地域観光コンテンツ計画において実施した観光ニーズ（GAP）調査の結果等を踏まえ、整備内容の洗い出しを行った施設を対象としている。本構想で整理を行う施設は、次のとおり。

▶対象施設

番号	施設名
①	春日神社
②	春日山神社下駐車場
③	愛宕谷公園
④	虎御前の墓
⑤	御前清水
⑥	林泉寺駐車場等周辺
⑦	春日山駅前周辺

▶既存施設位置図



なお、「観光拠点施設」、「春日山城跡史跡広場・春日山城ものがたり館」の基本構想策定には、パブリックコメント等の手続きが必要となることから、別途定めることとする。

また、史跡指定範囲内は、令和7年4月公表の「令和6年度地域・日本の新たなレガシー形成事業」における『戦国最強の武将「上杉謙信公」の魂が眠る戦国最強の山城「春日山城」の復元可能性調査』にて取りまとめられた「国指定史跡春日山城跡整備基本計画（素案）」を参考にするとともに、文化財保護法に基づき、規定の構想を別途とりまとめるものとする。

▶施設の魅力の順位付け及び各施設のコンテンツ

順位付け	カテゴリー	資源	根拠	個別整備内容(例)		
				観光インフラ	観光コンテンツ	
1	春日山観光の目玉	春日山城跡	GAP調査	・トイレ ・休憩スポット	・食事施設(地元の食材を用いた料理、出陣餅や川渡餅等謙信公にちなんだ甘味、スイーツ、上越市の酒蔵で作られた日本酒等) ・グッズやお土産 ・本丸からの景色、春日山城跡の眺望スポットに関する案内、眺望スポットの整備	・当時の様子がわかるもの(堀、土塁など) ・自然(桜、新緑、紅葉、雪等) ●歴史を感じるトレッキングツアー ●ガイドツアー
			+α	・馬場広場整備(シンボリックな場所) ・散策道の整備 ・案内の整備	・ライトアップ ・ドローンを操縦して春日山城の大きさを体感 ・熱気球で暴走道の空中散歩 ・甲冑・着物着用体験 ・キャンプ	・雪合戦 ・親子サバゲー ・当時の様子が分かるAR ・謎解きゲーム ・茶草園の整備
		春日山神社	GAP調査	●休憩スポット ・公共交通整備	・自然(桜、新緑、紅葉、雪等) ●ガイドツアー ・ライトアップ	・文化財等の展示 ・グッズやお土産
		+α				
春日神社	GAP調査	・公共交通整備 ・駐車場・駐輪場 ●休憩スポット	・自然(桜、新緑、紅葉、雪等) ●ガイドツアー			
	+α					
2	春日山観光の中心施設	拠点施設	GAP調査	・トイレ ●休憩スポット ・公共交通整備 ・駐車場・駐輪場 ・観光案内機能(ツアー等の窓口機能を含む)	・文化財等の展示 ・グッズやお土産 ・食事施設(地元の食材を用いた料理、謙信公にちなんだ甘味、スイーツ、市内酒蔵で作られた日本酒等)	
			+α	・荷物の預け先 ・案内の整備	・勝負飯づくり ・子ども向けデジタルコンテンツ ・忍者体験	・甲冑・着物着用体験 ・戦国時代にちなんだグッズづくり ・刀さばき体験 ・書道体験 ・武器等の姿に扮した人による雲田飯づくり
		春日山城史跡広場 春日山城跡ものがたり館	GAP調査	・トイレ ●休憩スポット ・公共交通整備 ・駐車場・駐輪場	●グランピング施設 ●謎解きゲーム	・グッズやお土産 ・食事施設(地元の食材を用いた料理、謙信公にちなんだ甘味、スイーツ、市内酒蔵で作られた日本酒等)
		+α	・案内の整備	・キャンプ ・ドローンを操縦して春日山城の大きさを体感		
3	周遊コース	御前清水	GAP調査	・案内の整備		
			+α			
		毘沙門堂	GAP調査	・案内の整備		
			+α			
		林泉寺	GAP調査	・案内の整備	・文化財等の展示	
			+α	・駐車場・トイレ		
		愛宕谷公園	GAP調査	・案内の整備 ●休憩スポット	・自然・景観・眺望	
			+α	・駐車場・トイレ	・キャンプ	
		埋蔵文化財センター	GAP調査	・案内の整備	・文化財等の展示	
			+α			
虎御前の墓	GAP調査	・案内の整備				
	+α					
春日謙信交流館	GAP調査	・トイレ ・荷物の預け先 ・公共交通整備 ・駐車場・駐輪場 ・観光案内機能(ツアー等の窓口機能を含む)				
	+α	・案内の整備				
遺跡(総構)の整備・復元	GAP調査	・案内の整備		・当時の様子がわかるもの(堀、土塁など)		
	+α		・ライトアップ ・音あそび体験(管舟流しや水切り、竹とんぼ飛ばしや竹馬、羽根つきなど)	・キャンプ ・星空観察会 ・高級店の野外出張レストラン		

順位 付け	カテゴリー	資源	根拠	個別整備内容(例)	
				観光インフラ	観光コンテンツ
3	周遊コース	御前清水	GAP 調査	・案内の整備	
			+α		
		毘沙門堂	GAP 調査	・案内の整備	
			+α		
		林泉寺	GAP 調査	・案内の整備	・文化財等の展示
			+α	・駐車場・トイレ	
		愛宕谷公園	GAP 調査	・案内の整備 ●休憩スポット	・自然・景観・眺望
			+α	・駐車場・トイレ	・キャンプ
		埋蔵文化財センター	GAP 調査	・案内の整備	・文化財等の展示
			+α		
虎御前の墓	GAP 調査	・案内の整備			
	+α				
春日謙信交流館	GAP 調査	・トイレ ・荷物の預け先 ・公共交通整備 ・駐車場・駐輪場 ・観光案内機能(ツアー等の窓口機能を含む)			
	+α	・案内の整備			
遺跡(総構)の整備・復元	GAP 調査	・案内の整備		・当時の様子がわかるもの(堀、土塁など)	
	+α		・ライトアップ ・昔あそび体験(笹舟流しや水切り、竹とんぼ飛ばしや竹馬、羽根つきなど)	・キャンプ ・星空観察会 ・高級店の野外出張レストラン	
順位 付け	カテゴリー	資源	根拠	個別整備内容(例)	
4	インフラ機能	春日山荘跡地	GAP 調査	・トイレ ●休憩スポット ・駐車場・駐輪場	
			+α	・案内の整備	
		春日山駅	GAP 調査	・トイレ ●休憩スポット ・公共交通整備 ・駐車場・駐輪場	●上杉謙信公の雰囲気を感じられる仕掛け
			+α	・案内の整備	
		春日山神社下駐車場	GAP 調査	・トイレ ●休憩スポット ・公共交通整備 ・駐車場・駐輪場	
			+α	・案内の整備	

■春日山地域全体としてのコンテンツ

GAP調査	・ガイド付きバスで地域を巡るツアー ・謎解きゲーム
+α	・戦国時代をテーマにしたゲームとのコラボレーション(信長の野望など) ・甲冑着用して地域を散策

● : 30代男女 ● : 40代及び50代男性

1.2.2. 各施設に共通する活用の考え方

活用構想を検討するにあたり、共通する活用の考え方を以下にまとめる。

- ・春日山地域観光コンテンツ計画によって整理された観光インフラ・観光コンテンツから、必要となる機能を抽出する。
- ・既存の公衆トイレに和式がある場合は、誰もが快適に利用できるよう洋式化する。
- ・公衆トイレの整備においては、現在、各トイレには老朽化が見られる。しかし、撤去して新規設置する場合の工事費が膨大となる可能性があるため、設備や内装の改修にとどめる。
- ・駐車場の舗装にクラックなどがみられる場合は、表層を打ち換える。

第2章 春日神社周辺の活用

2.1. 現況の把握

2.1.1. 来歴

天徳2(958)年に鉢ヶ峰山頂(現在の春日山頂)に奈良春日大社の分霊を勧請し、祀られたのがはじまりと伝えられている。越後守護上杉氏の氏神であり、春日山城の名前の由来ともなった神社。春日山城築城の際に、城の鬼門となる現在の位置に遷座させられたと伝えられている。鳥居からはスギ並木の参道と石段が一直線に眺められる。境内に立つ春日灯籠は江戸時代の作と伝えられている。

社殿は令和2(2020)年に改築が行われた。

2.1.2. 現状

参道は石段やスギ並木、灯籠、石畳等の歴史を感じさせる設えである。参道の南側には、春日神社の朱鳥居と春日橋があり、春日山城を望むことができる。

▶施設状況

項目	有無	状態	備考
駐車場	有り	良好	24台 R2年整備
トイレ	無し	-	-



▶社殿



▶駐車場



▶スギ並木と石段

2.2. 整備の基本方針

春日神社への参拝だけでなく、春日神社の参道、朱鳥居、春日橋、春日山城跡の眺望の良さを体感してもらうため、気軽に立ち寄れる場所とする整備が必要である。

気軽に立ち寄れる場所にするためバス停の整備

2.3. 整備機能

2.3.1. 与条件の整理

春日橋と朱鳥居への立寄りをしやすくするために、御館川沿いに二次交通用のバス停を設置する。

2.3.2. 関連計画での位置づけ

春日山地域観光コンテンツ計画においてまとめた観光インフラ・観光コンテンツを下表に示す。

▶春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付け

順位付け	カテゴリー	施設名	観光インフラ	観光コンテンツ
1	春日山観光の目玉施設	春日神社	・公共交通整備 ・駐車場・駐輪場 ・休憩スポット	・自然（桜、新緑、紅葉、雪等） ・ガイドツアー

2.3.3. 整備設備・施設・機能

春日山地域観光コンテンツ計画でまとめられた施設の魅力の順位付けより、整備する機能を下表にまとめた。既存施設が新しく、十分に活用できることから、新規の整備は行わない。

▶整備設備・施設・機能

観光インフラ・観光コンテンツ	機能	整備内容
各施設をつなぐ公共交通整備	バス停	御館川沿いにバス停を設置
駐車場・駐輪場	駐車場・駐輪場	既存駐車場を利用
休憩スポット	ベンチ	-
春日山地域の自然（桜、新緑、紅葉、雪等）	-	-
ガイドツアー	-	-

第3章 春日山神社下駐車場の活用

春日山城跡の史跡指定範囲の中にあり、史跡指定地内については、北陸信越運輸局が実施した令和6年度地域・日本の新たなレガシー形成事業における『戦国最強の武将「上杉謙信公」の魂が眠る戦国最強の山城「春日山城」の復元可能性調査』において、今後の春日山城跡を保存し活用していくための整備を進める指針となる「国指定史跡春日山城跡整備基本計画（素案）」をまとめていることから、本活用構想では、史跡指定地内については、階段下駐車場のみ整備方針を記載している。

3.1. 現況の把握

3.1.1. 来歴

春日山神社は、山形県米沢市の上杉神社より分霊されて、上杉謙信公を祭神に祀った神社で、明治34（1901）年に、童話作家「小川未明」の父である小川澄晴等によって創建された。境内に隣接する春日山神社記念館には、上杉謙信公の遺品・資料などが展示されている。また、境内には小川未明記念館も設置されている。

3.1.2. 現状

春日山神社の階段下に整備された駐車場は、春日山城跡の散策や春日山神社への参拝客が多く利用している。

なお、駐車場内に設置されている公衆トイレは昭和63（1988）年に設置され、平成11（1999）年に改修されている。



▶春日山神社参道



▶トイレ



▶駐車場（俯瞰）



▶駐車場路面状況

▶施設状況

項目	有 無	状 態	備 考
トイレ	有り	不良 ※1 穴使用不可	バリアフリースイレあり 浄化槽（50 人槽）
駐車場	有り	クラックあり	23 台（内車いす用 1 台）

3.2. 整備の基本方針

春日山神社及び春日山城跡の散策する人の準備の場となるような整備を行う。

山城及び春日山神社を訪れる人の準備をする場としての整備

3.3. 整備機能

3.3.1. 与条件の整理

(1) 駐車場の飽和対策

回遊観光を推進し来訪者数が増加していくことで、春日山城跡周辺の駐車場が飽和する状況が増え、来訪者の観光行動に大きな影響を与えるとともに近隣住民への影響も懸念される。そのため、来訪者・近隣住民への影響を及ぼす恐れが生じた場合は、駐車場の飽和対策（二次交通利用の促進、埋蔵文化財センター周辺の駐車場増台、臨時駐車場の設置、上越市民以外の春日山神社下駐車場の有料化等）を検討する。

なお、検討するに至った経緯については、別途策定した「春日山地域回遊観光計画※」の第5章に記載しているが、その概要については後述する。

※「春日山地域観光コンテンツ計画」を踏まえ、春日山地域の回遊観光における世界観や、観光を通じて演出するメッセージを設定するほか、将来の来訪者数や回遊ルートを検討するとともに、結果を基に駐車場やトイレの適正配置、二次交通、サイン配置について検討・整理し、とりまとめた計画

(2) 既存公衆トイレの改修

設置から30年以上経ち、老朽化がみられるため、便器などを取り替えるなどの改修をする。

(3) 大型観光バスの利用

個人利用だけでなく、ツアーや修学旅行等での利用も考えられることから、団体利用の際の使い方も考慮する。

3.3.2. 関連計画での位置づけ

春日山地域観光コンテンツ計画においてまとめた観光インフラ・観光コンテンツを下表に示す。

▶春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付け

順位付け	カテゴリー	施設名	観光インフラ	観光コンテンツ
1	春日山観光の目玉施設	春日山神社	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通整備 休憩スポット 	<ul style="list-style-type: none"> 自然（桜、新緑、紅葉、雪等） ガイドツアー ライトアップ 文化財等の展示 グッズやお土産

3.3.3. 機能

春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付けから、本施設に必要な機能を整理した。

▶整備設備・施設・機能

観光インフラ・観光コンテンツ	機能	整備内容
各施設をつなぐ公共交通整備	バス停	駐車場に二次交通用のバス停を設置
駐車場・駐輪場	駐車場・駐輪場	駐車場の飽和対策を検討する。
休憩スポット	ベンチ・トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 休憩するベンチを整備 既存トイレを利用規模想定に合わせて再整備
春日山地域の自然（桜、新緑、紅葉、雪等）	-	-
ガイドツアー	-	-

3.3.4. トイレの必要面積

設計要領と都市公園技術標準解説書で規模算定を行った結果、いずれも既存トイレの穴数で足りることが確認できたため、既存の穴数を踏襲する。しかし施設の老朽化がみられることから、現状の規模を変えずに改修することとした。

なお、トイレの面積は既存トイレの面積である 52 m²とする。

▶既存トイレ穴数

項目	大便器	小便器	合計
男用	1	4	5
女用	5	-	5
バリアフリー	1	-	1
合計	7	4	11

○東日本高速道路株式会社 設計要領による算定

駐車台数を基に、トイレ規模の算定を行った。以下に計算式を示す。

【便器数計算式】

便器数＝駐車台数×車種構成率×回転数×平均乗車人員×トイレ利用率×性別比率×ピーク率÷便器回転率×洋式便器設置率

【洗面器数計算式】

洗面器数＝便器数÷洗面器回転率

▶トイレ穴数算定

項目	算出式	算定結果	総合結果
駐車マス	P	23	
駐車回転数	r	2.4	
車種別駐車台数	$P_a = P \times r \times S$ (車種構成率)	50.8	
平均乗車人数	W	2.2	
立ち寄り数	$N = P_a \times W$	111.7	
トイレ利用率	u	0.72	
性別比率	男=Dm 女=Df	0.54 0.46	
ピーク率	男=Pm 女=Pf	2.1 2.8	
性別利用人数	男 $NL_m = u \times N \times D_m \times P_m$ 女 $NL_f = u \times N \times D_f \times P_f$	91.2 103.6	92 104
便器回転率	男=Cm 女=Cf	95.0 40.0	
便器数	男小 $V_{m1} = NL_m / C_m \times 0.8$ 男大 $V_{m2} = V_{m1} \times 0.75$ 女 $V_f = NL_f / C_f$ 身障者 $V_h = (V_{m2} + V_f) / 50$ ($V_{m2} + V_f \leq 200$ の場合)	0.8 0.8 2.6 0.1	1 1 3 1
洗面器回転率	男=Sm 女=Sf	360 215	
洗面器数	男 $V_{Sm} = NL_m / S_M$ 女 $V_{Sf} = NL_f / S_f$	0.3 0.5	1 1

係数はサービスエリアの観光部を参照

○都市公園技術標準解説書（令和元年度版）

公園のトイレの規模算定の方法は、「公園施設規模（収容人数）から便器数を算定する方法」を採用し、下記のとおりとした。

算定に必要な利用率は、1/30を採用する。史跡内には、十分なトイレの穴数はなく、春日山神社だけでなく、本丸跡など各史跡散策などをする人たちが多く利用することを想定して設定した。

R21 年度年間利用者数想定	: 350,957 人
月別のピーク人数	: 51,510 人（5月）
平日利用者数	: 1,030 人（5月）
休日利用者数	: 2,987 人（5月）
同時滞在者数（最大値）	: 204 人（5月 休日）※

$$\text{計算式} : 203 \text{ 人} \times 1/30 = 6.8 \text{ 穴} \approx 7 \text{ 穴}$$

※営業時間を 8 時間、平均滞在時間を 32.8 分として計算

3.4. 図面・パース

平面図（案）を下図に示す。配置の考え方は下記のとおり。

- ・大型バスは乗車人員の乗降時に停車することとし、大型バスの待機場所は上越市埋蔵文化財センター駐車場とする。



▶平面図（案）



▶整備イメージ図

3.5. 駐車場飽和対策の検討経緯

現在、山城部においては、巡回バス運行期間以外の時期においても、春日山神社下駐車場の台数が収容量を上回る日がみられる。

今後、回遊観光を推進し来訪者数が増加していくことで、春日山城跡周辺の駐車場が飽和する状況が増え、来訪者の観光行動に大きな影響を与えるとともに近隣住民への影響も懸念される。

一方で、春日山神社周辺は、丘陵地で平坦地が少ないこと、史跡指定地の法的制約があることなどから新規駐車場の増設は難しい。

そのため、来訪者・近隣住民への影響を及ぼす恐れが生じた場合は、山城部への車両進入を減らし、麓の駐車場から徒歩や二次交通で移動してもらうことを基本とする。それを踏まえ、埋蔵文化財センター周辺の駐車場を増台するとともに、ピーク時には臨時駐車場などを設けるものとする。

3.5.1. 検討の対象期間

施設や観光コンテンツが整備される以前と以降では、大きく状況が異なることから観光客の動向も大幅に変わると推測される。

本章は、将来的な利用者増に対応するものであることから、主要な施設・観光コンテンツが整備される予定の令和12(2030)年度から10年間を対象に来訪者数とその動きを踏まえて対策を検討するものとする。

令和7(2025)年度～令和12(2030)年度の各種施設未整備段階については検討対象期間に含めない。

3.5.2. 駐車場の適正配置の検討対象と検討方法

本章で検討対象とする駐車場は、現状で収容量の超過がみられる春日山神社下駐車場と、今後の地域内回遊などのための駐車場を集約する埋蔵文化財センター周辺の駐車場の2か所とし、令和12(2030)年度から10年間の各年における春日山神社下駐車場の超過状況と埋蔵文化財センター周辺駐車場の利用台数をシミュレーションする。

3.5.3. 将来来訪者数の推計と春日山神社下駐車場の超過状況

令和12(2030)年度から10年間の春日山神社周辺の来訪者数を推計し、これを基に春日山神社下駐車場の超過状況を予測する。

超過状況の予測にあたっては、まず、基準値として神社下駐車場が超過する日來訪者数・台数を設定する。算定にあたっては過去のピーク時のデータを参考とする。

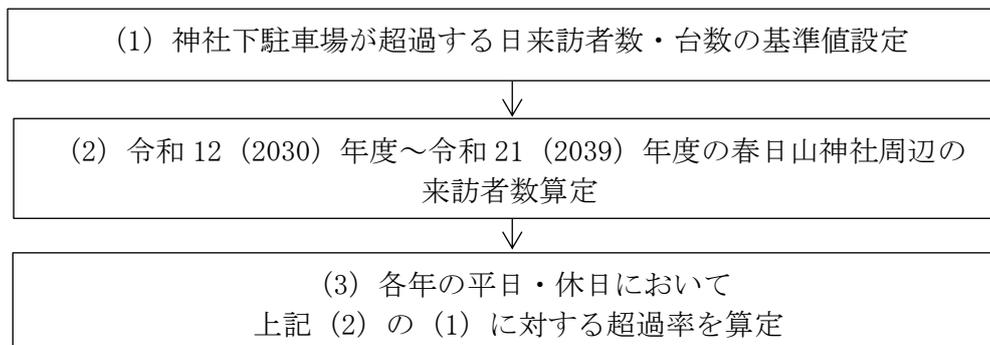
次に、春日山地域回遊観光計画第3章の3.5.3項で算定した令和12(2030)年度～令和21(2039)年度の春日山神社周辺の年間来訪者数を基に月別、平日・休日別

の来訪者数を算定する。

以上を踏まえ、各年の月別、平日・休日別の日来訪者数と基準値として設定した日来訪者数・台数を比較し、基準値に対する超過率を算定する。

以上の内容を検討フローにまとめる。

【検討フロー】



(1) 現在のピーク日の来訪者数・台数の算定

上越市では、春日山城跡の山城部にある3か所の駐車場(春日山神社下、三叉路、馬場広場)について、毎年4月1日～10月31日の毎日10時、12時、15時の時点における駐車台数を計測している。

令和2(2020)年度から令和6(2024)年度において、3時点の平均駐車台数が30台を超える日をピーク日と設定し、ピーク日に該当するときの来訪者数を算定する。

a) 令和2(2020)年度～令和6(2024)年度におけるピーク日の状況

令和2(2020)年度から令和6(2024)年度において、平均30台前後(±10%)駐車されている日とその状況を表3-1にまとめた。

表 3-1 神社下駐車場が平均 30 台前後の日（令和 2（2020）年度～令和 6（2024）年度）

年	日にち	曜日	シャトル運行	駐車台数			平均駐車台数
				10 時	12 時	15 時	
令和 2 年	9 月 19 日	土		13	33	37	27.7
令和 2 年	9 月 22 日	火		30	34	33	32.3
令和 2 年	10 月 17 日	土		24	37	29	30.0
令和 3 年	5 月 3 日	月	●	25	30	33	29.3
令和 3 年	7 月 23 日	金		22	28	36	28.7
令和 3 年	7 月 24 日	土		26	24	31	27.0
令和 3 年	8 月 22 日	日		23	30	40	31.0
令和 3 年	9 月 19 日	日		25	27	31	27.7
令和 4 年	4 月 10 日	日		20	42	32	31.3
令和 4 年	4 月 30 日	土	●	27	31	29	29.0
令和 4 年	5 月 3 日	火	●	34	32	33	33.0
令和 4 年	5 月 5 日	木	●	24	35	34	31.0
令和 4 年	10 月 9 日	日		22	37	37	32.0
令和 6 年	4 月 14 日	日		22	30	30	27.3
令和 6 年	5 月 2 日	木	●	22	29	30	27.0
令和 6 年	5 月 3 日	金	●	26	29	38	31.0
令和 6 年	8 月 11 日	日	●	25	29	32	28.7
令和 6 年	8 月 14 日	水	●	24	29	28	27.0
令和 6 年	10 月 13 日	日		22	40	34	32.0

（出典：上越市による実測調査）

b) ピーク日の来訪者数・来訪台数

表 3-1 の各日において、駐車場超過時にどのくらいの来訪者があったかを確認するため、「おでかけウォッチャー※」により「春日山城跡（神社下駐車場、馬場広場、春日山神社）」の来訪者数を計測した。表 3-1 のうち、シャトルバス運行している日については平常時と状況が異なるため除外した。

また、春日山地域回遊観光計画第 3 章の 3.5.1 項で設定した前提条件を踏まえ、市内・市外を合わせた来訪者数や車両台数についても算定した。

表 3-2 にその結果をまとめる。

表 3-2 から、春日山神社周辺への来訪者数が 1,392 人/日、車両台数が 453 台/日を超えた場合、駐車場の超過により来訪者・近隣住民へ影響を及ぼす恐れが発生する。

※GPS の位置情報データを用いてスポットへの来訪者の情報を収集するサービス。国内 140 種類以上の提携アプリに対して、㈱プログウォッチャー社のソフトウェア開発キットを導入。本市の調査では、観光客の来訪者数のみカウントが可能

表 3-2 ピーク日の来訪者数・車両台数（令和 2（2020）年度～令和 6（2024）年度）

年	日にち	曜日	平均 駐車台数	総来訪者数 (おでかけウォッチャーから推計)	左のうち 自家用車で 来訪する人数	自家用車の 来訪台数
令和 2 年	9 月 19 日	土	27.7	1,477 人/日	1,059 人/日	481 台/日
令和 2 年	9 月 22 日	火	32.3	1,487 人/日	1,065 人/日	484 台/日
令和 2 年	10 月 17 日	土	30.0	570 人/日	408 人/日	186 台/日
令和 3 年	7 月 23 日	金	28.7	1,353 人/日	969 人/日	441 台/日
令和 3 年	7 月 24 日	土	27.0	1,640 人/日	1,175 人/日	534 台/日
令和 3 年	8 月 22 日	日	31.0	575 人/日	412 人/日	187 台/日
令和 3 年	9 月 19 日	日	27.7	1,271 人/日	911 人/日	414 台/日
令和 4 年	4 月 10 日	日	31.3	2,417 人/日	1,732 人/日	787 台/日
令和 4 年	10 月 9 日	日	32.0	1,391 人/日	997 人/日	453 台/日
令和 6 年	4 月 14 日	日	27.3	1,873 人/日	1,342 人/日	610 台/日
令和 6 年	10 月 13 日	日	32.0	1,256 人/日	900 人/日	409 台/日

シャトル運行日を除く、日平均駐車台数 27～33 台の
ときの平均来訪数 **1,392 人/日** 997 人/日 **453 台/日**

(出典：上越市による実測調査、おでかけウォッチャーを基に推計)

(2) 令和 12（2030）年度～令和 21（2039）年度の春日山神社周辺の来訪者数算定

春日山地域回遊観光計画第 3 章の表 3-11 を基に、以下を算定する。

- ・令和 12（2030）年度～令和 21（2039）年度の春日山神社周辺の月別来訪者数
- ・上記各月の平日・休日の日来訪者数

a) 令和 12（2030）年度～令和 21（2039）年度の春日山神社周辺の月別来訪者数

春日山神社周辺の年間来訪者数の推計値と令和 3（2021）年度～令和 5（2023）年度の月別来訪者数割合（おでかけウォッチャー）から、各年の月別来訪者数を算定する。なお、月別来訪者割合は令和 12（2030）年度以降、変動しないものとみなした。

春日山地域回遊観光計画第 3 章の表 3-11 から、令和 12（2030）年度～令和 21（2039）年度の春日山神社周辺の年間来訪者数を抽出し、令和 3（2021）年度～令和 5（2023）年度の月別来訪者数で案分し各年の月別来訪者数を算定した。

表 3-3 春日山神社周辺の月別来訪者数（令和 12（2030）年度～令和 21（2039）年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度～令和5年度月別来訪割合	12.6%	14.7%	8.5%	8.3%	14.2%	9.9%	9.8%	9.3%	1.9%	4.2%	1.8%	5.0%	100.0%
令和12年度	28,510	33,204	19,227	18,791	32,016	22,295	22,060	21,004	4,407	9,393	3,981	11,342	226,230
令和13年度	29,936	34,864	20,188	19,731	33,616	23,410	23,163	22,055	4,627	9,862	4,180	11,909	237,541
令和14年度	31,433	36,608	21,197	20,717	35,297	24,580	24,321	23,157	4,859	10,356	4,389	12,504	249,418
令和15年度	33,004	38,439	22,257	21,753	37,062	25,809	25,537	24,315	5,102	10,873	4,609	13,129	261,889
令和16年度	34,655	40,359	23,370	22,841	38,915	27,100	26,814	25,531	5,357	11,417	4,839	13,786	274,984
令和17年度	36,387	42,378	24,538	23,983	40,861	28,455	28,155	26,807	5,625	11,988	5,081	14,475	288,733
令和18年度	38,207	44,496	25,765	25,182	42,904	29,878	29,563	28,148	5,906	12,587	5,335	15,199	303,170
令和19年度	40,117	46,721	27,054	26,441	45,049	31,371	31,041	29,555	6,201	13,217	5,602	15,959	318,328
令和20年度	42,123	49,057	28,406	27,763	47,302	32,940	32,593	31,033	6,511	13,878	5,882	16,757	334,245
令和21年度	44,229	51,510	29,827	29,152	49,667	34,587	34,222	32,585	6,837	14,571	6,176	17,594	350,957

（参考：おでかけウォッチャーを基に推計）

(3) 各年の平日・休日の来訪者数とピーク日に対する超過率

次に、表 3-3 を基に、年別・月別の平日と休日の日來訪者数を算定する。

a) 算定条件の整理

<条件設定>

- ① 平日と休日の入込割合は現在と同等とし、平日：休日＝1：2.9 とする。
- ② 乗用車の平均乗車人数は 2.2 人/台とする。

■ 平日：休日の入込割合

おでかけウォッチャーから、春日山地域にある主要施設の、令和 5（2023）年度の平日に來訪した人の総数は表 3-4 のとおりである。

同様に、令和 5（2023）年度の休日に來訪した人の総数は表 3-5 のとおりである。

表 3-4 春日山地域にある主要施設の平日の来訪者総数
(令和 5 (2023) 年 4 月 1 日～令和 6 (2024) 年 3 月 31 日)

スポット	来訪者数 (人)
春日山城跡 (神社下駐車場、馬場広場、春日山神社)	36,000
春日山城跡 (銅像から本丸まで)	8,000
春日山城跡 (黒金門から御屋敷跡)	※
春日山城跡 (大手道～柿崎屋敷跡)	1,000
埋蔵文化財センター	7,000
林泉寺	7,000
春日神社	1,000
春日山城跡ものがたり館	4,000
春日山城史跡広場	1,000
虎御前の墓	※
合計	65,000

※印は 1000 人以下

(出典：おでかけウォッチャー)

表 3-5 春日山地域にある主要施設の休日の来訪者総数
(令和 5 (2023) 年 4 月 1 日～令和 6 (2024) 年 3 月 31 日)

スポット	来訪者数 (人)
春日山城跡 (神社下駐車場、馬場広場、春日山神社)	47,000
春日山城跡 (銅像から本丸まで)	11,000
春日山城跡 (黒金門から御屋敷跡)	※
春日山城跡 (大手道～柿崎屋敷跡)	2,000
埋蔵文化財センター	12,000
林泉寺	11,000
春日神社	1,000
春日山城跡ものがたり館	6,000
春日山城史跡広場	1,000
虎御前の墓	※
合計	91,000

※印は 1000 人以下

(出典：おでかけウォッチャー)

令和 5 (2023) 年度は、平日が 246 日、休日が 120 日であることから、平日、休日の平均来訪者数は、それぞれ平日：262 人/日、休日：750 人/日となる。

よって、休日の来訪者数は、平日の 2.9 倍であり、平日：休日の来訪者割合は 1：2.9 となる。

表 3-6 令和 5（2023）年度の春日山地域の平日・休日の入込割合

項目	平日	休日
来訪者の総数（人/年）（A）	65,000	91,000
年間日数（日）（B）	246	120
日平均来訪者数（人/日）（A÷B）	264	758
平日：休日の来訪者割合	1.0	2.9

（参考：おでかけウォッチャーを基に推計）

■ 乗用車の平均乗車人数

乗用車の平均乗車人数は、「設計要領 第 6 集 建築施設編」（令和 1、東日本高速道路株式会社ほか）に記載の、小型車の「平均乗車人員数」に準じ、2.2 人/台とする。

■ 平日・休日の来訪者数

算定条件を踏まえ、表 3-3 の年別・月別の来訪者数をもとに、各月の平日・休日の日平均来訪者数を算定した。

算定式は以下のとおりである。

平日の日平均来訪者数：月来訪者数 ÷ （平日日数＋休日日数×2.9 倍）

休日の日平均来訪者数：平日日数 × 2.9 倍

算定結果を表 3-7 に示す。

表 3-7 各月における平日・休日の日来訪者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和12年度	平日	605	664	392	391	640	438	459	429	92	188	85	219	4,602
	休日	1,755	1,926	1,137	1,134	1,856	1,270	1,331	1,244	267	545	247	635	13,347
令和13年度	平日	636	697	412	410	672	460	482	450	96	197	89	229	4,830
	休日	1,844	2,021	1,195	1,189	1,949	1,334	1,398	1,305	278	571	258	664	14,006
令和14年度	平日	667	732	433	431	706	483	506	473	101	207	93	241	5,073
	休日	1,934	2,123	1,256	1,250	2,047	1,401	1,467	1,372	293	600	270	699	14,712
令和15年度	平日	701	769	454	452	741	507	531	496	106	217	98	253	5,325
	休日	2,033	2,230	1,317	1,311	2,149	1,470	1,540	1,438	307	629	284	734	15,442
令和16年度	平日	736	807	477	475	778	532	557	521	111	228	103	266	5,591
	休日	2,134	2,340	1,383	1,378	2,256	1,543	1,615	1,511	322	661	299	771	16,213
令和17年度	平日	773	848	501	499	817	559	585	547	117	240	108	279	5,873
	休日	2,242	2,459	1,453	1,447	2,369	1,621	1,697	1,586	339	696	313	809	17,031
令和18年度	平日	811	890	526	524	858	587	615	574	123	252	114	293	6,167
	休日	2,352	2,581	1,525	1,520	2,488	1,702	1,784	1,665	357	731	331	850	17,886
令和19年度	平日	852	934	552	550	901	616	645	603	129	264	119	307	6,472
	休日	2,471	2,709	1,601	1,595	2,613	1,786	1,871	1,749	374	766	345	890	18,770
令和20年度	平日	894	981	580	577	946	647	678	633	135	278	125	323	6,797
	休日	2,593	2,845	1,682	1,673	2,743	1,876	1,966	1,836	392	806	363	937	19,712
令和21年度	平日	939	1,030	609	606	993	680	711	665	142	291	131	339	7,136
	休日	2,723	2,987	1,766	1,757	2,880	1,972	2,062	1,929	412	844	380	983	20,695

平日数	21	21	20	22	21	19	22	20	22	21	18	20	247
休日数	9	10	10	9	10	11	9	10	9	10	10	11	118
総数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

（参考：おでかけウォッチャーを基に推計）

(4) 春日山神社下駐車場の超過状況

令和5(2023)年に実施した春日山神社下駐車場(以下、神社下駐車場と略す)の駐車台数調査の結果から、ピーク日における来訪者数を示す。

令和5(2023)年のピーク日における来訪者数：1,392人/日

表3-7のうち、日來訪者数が1,392人/日を超える月を把握するため、日來訪者数をピーク日來訪者数1,392人/日で除してピーク日に対する超過率を表3-8にまとめた。

表3-8から、令和13(2031)年度以降は、4月～11月の休日は常にピーク期の80%以上の来訪が見込まれ、令和17(2035)年度以降は、4月～11月の休日は常にピーク期の100%以上の来訪となる。

このことから、山城部への来訪者増による影響を抑制するための対策を講じる必要がある。

表 3-8 令和5(2023)年度のピーク日に対する超過率

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和12年度	平日	43.5%	47.7%	28.2%	28.1%	46.0%	31.5%	33.0%	30.8%	6.6%	13.5%	6.1%	15.7%
	休日	126.1%	138.4%	81.7%	81.5%	133.4%	91.3%	95.6%	89.4%	19.2%	39.2%	17.7%	45.6%
令和13年度	平日	45.7%	50.1%	29.6%	29.5%	48.3%	33.1%	34.6%	32.3%	6.9%	14.2%	6.4%	16.5%
	休日	132.5%	145.2%	85.9%	85.4%	140.0%	95.9%	100.4%	93.8%	20.0%	41.1%	18.5%	47.7%
令和14年度	平日	47.9%	52.6%	31.1%	31.0%	50.7%	34.7%	36.4%	34.0%	7.3%	14.9%	6.7%	17.3%
	休日	139.0%	152.5%	90.2%	89.8%	147.1%	100.7%	105.4%	98.6%	21.0%	43.1%	19.4%	50.2%
令和15年度	平日	50.4%	55.3%	32.6%	32.5%	53.2%	36.4%	38.2%	35.6%	7.6%	15.6%	7.0%	18.2%
	休日	146.1%	160.2%	94.6%	94.2%	154.4%	105.7%	110.7%	103.4%	22.1%	45.2%	20.4%	52.7%
令和16年度	平日	52.9%	58.0%	34.3%	34.1%	55.9%	38.2%	40.0%	37.4%	8.0%	16.4%	7.4%	19.1%
	休日	153.4%	168.2%	99.4%	99.0%	162.1%	110.9%	116.1%	108.6%	23.1%	47.5%	21.5%	55.4%
令和17年度	平日	55.5%	60.9%	36.0%	35.9%	58.7%	40.2%	42.0%	39.3%	8.4%	17.2%	7.8%	20.0%
	休日	161.1%	176.7%	104.4%	104.0%	170.3%	116.5%	121.9%	114.0%	24.4%	50.0%	22.5%	58.1%
令和18年度	平日	58.3%	64.0%	37.8%	37.7%	61.7%	42.2%	44.2%	41.2%	8.8%	18.1%	8.2%	21.1%
	休日	169.0%	185.5%	109.6%	109.2%	178.8%	122.3%	128.2%	119.6%	25.6%	52.5%	23.8%	61.1%
令和19年度	平日	61.2%	67.1%	39.7%	39.5%	64.7%	44.3%	46.3%	43.3%	9.3%	19.0%	8.6%	22.1%
	休日	177.5%	194.6%	115.0%	114.6%	187.8%	128.4%	134.4%	125.7%	26.9%	55.0%	24.8%	64.0%
令和20年度	平日	64.2%	70.5%	41.7%	41.5%	68.0%	46.5%	48.7%	45.5%	9.7%	20.0%	9.0%	23.2%
	休日	186.3%	204.4%	120.9%	120.2%	197.1%	134.8%	141.3%	131.9%	28.1%	57.9%	26.0%	67.3%
令和21年度	平日	67.5%	74.0%	43.8%	43.5%	71.4%	48.9%	51.1%	47.8%	10.2%	20.9%	9.4%	24.4%
	休日	195.7%	214.6%	126.9%	126.3%	206.9%	141.7%	148.2%	138.6%	29.6%	60.6%	27.3%	70.6%

令和5(2023)年度ピーク日の : 80.0~99.9% : 100.0~149.9% : 150%以上

第4章 愛宕谷公園の活用

4.1. 現況の把握

愛宕谷公園は、江戸時代の古絵図に「蓮池」、「堤」と描かれており、戦国時代には堤防を築いて御館川を堰止め、堀として敵の侵入に備えたと伝えられている場所である。現在は公園として庭園や駐車場、トイレが整備されている。

▶施設状況

項目	有 無	状 態	備 考
トイレ	有り	故障中（修繕予定）	・和式 ・バリアフリートイレあり ・浄化槽（50人槽）
駐車場	有り	普通	23台 車いす用1台



▶愛宕谷公園



▶駐車場

4.2. 整備の基本方針

「国指定史跡春日山城跡整備基本計画（素案）」では、総構から黒金門を経て春日山神社に至る黒金門ルート（仮称）の再整備を検討している。愛宕谷公園がその中間点となることから散策拠点として整備を行うとともに、観光コンテンツによる付加価値をつけ、幅広い年齢層が利用する広場としての整備を中心に行う。

山城及び春日山神社を訪れる人の拠点及び春日山の自然を感じる広場整備

4.3. 整備機能

4.3.1. 与条件の整理

(1) メインターゲット

春日山地域観光コンテンツ計画において設定された30代男女、ファミリー層をメインターゲットとして整備を行う。

(2) ものがたり館との連携

コンテンツの管理棟機能の整備を検討しているものがたり館と連携した施設とする。

(3) 既存公衆トイレの改修

既存の公衆トイレが和式のため、誰もが快適に利用できるよう洋式化する。

(4) 関連計画での位置づけ

春日山地域観光コンテンツ計画においてまとめた観光インフラ・観光コンテンツを下表に示す。

▶春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付け

順位付け	カテゴリー	施設名	観光インフラ	観光コンテンツ
3	周遊コース	愛宕谷公園	・案内の整備 ・休憩スポット ・駐車場、トイレ	・自然、景観、眺望 ・キャンプ

(5) 機能

春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付けから、本施設に必要な機能を整理した。

▶整備設備・施設・機能

観光インフラ・観光コンテンツ	機能	整備内容
案内の整備	サイン	春日山城跡の案内・誘導サインの設置
休憩スポット	ベンチ・あづまや・公園整備	公園内にベンチやあづまや等を整備する。
駐車場	駐車場	駐車マスの白線を引く。近隣住民に配慮したバッファの設置
トイレ	トイレ	既存トイレの機能を改修する。
キャンプ	サニタリー棟 キャンプ場	受付はものがたり館で行うこととして、本施設ではサニタリー棟及びキャンプ利用できるように広場を整備する。

上記のほか、公園の管理や利用がしやすいように園路の整備を行う。

(6) 利用人員

利用人員の算出は、春日山地域回遊観光計画第3章で記載のとおり、本施設と黒金門から御屋敷跡へ散策する来訪者は、令和21(2039)年度で年間10,138人(黒鉄門～御屋敷跡の散策6,901人、愛宕谷公園3,237人)を想定している。

(7) 概略必要面積

a) 駐車場規模

既存の駐車場の面積を使用し、小型車26台、車椅子利用者用駐車場1台とする。

b) キャンプ場規模

キャンプ利用可能な広場は、敷地の3分の1程度の2,600㎡とする。1サイト120㎡とすると、最大21サイトが張れる規模とした。

c) トイレ規模算定

設計要領と都市公園技術標準解説書で規模算定を行った結果、男子トイレの小便器穴数および女子トイレの穴数が不足している。キャンプ利用者用として、公園内にバイオトイレを設けることで利用者を分散させ、既存公衆トイレの穴数を踏襲した整備とする。

施設の老朽化がみられることから、現状の規模を変えずに改修することとした。トイレの面積は既存トイレの面積である約20㎡とする。

▶既存公衆トイレ穴数

項目	大便器	小便器	合計
男用	1	-	1
女用	1	-	1
バリアフリー	1	-	1
合計	3	-	3

▶公園内に設置するバイオトイレ穴数

項目	大便器	小便器	合計
男用	-	2	2
女用	2 ※男女兼用で整備	-	2
合計	2	2	4

○東日本高速道路株式会社 設計要領による算定

駐車台数を基に、トイレ規模の算定を行った。以下に計算式を示す。

【便器数計算式】

便器数 = 駐車台数 × 車種構成率 × 回転数 × 平均乗車人員 × トイレ利用率 × 性別比率 × ピーク率 ÷ 便器回転率 × 洋式便器設置率

【洗面器数計算式】

洗面器数 = 便器数 ÷ 洗面器回転率

▶トイレ穴数算定

項目	算出式	算定結果	総合結果
駐車マス	P	27	
駐車回転数	r	2.4	
車種別駐車台数	$P_a = P \times r \times S$ (車種構成率)	59.6	
平均乗車人数	W	2.2	
立ち寄り数	$N = P_a \times W$	131.2	
トイレ利用率	u	0.72	
性別比率	男 = D_m 女 = D_f	0.54 0.46	
ピーク率	男 = P_m 女 = P_f	2.1 2.8	
性別利用人数	男 $N_{Lm} = u \times N \times D_m \times P_m$ 女 $N_{Lf} = u \times N \times D_f \times P_f$	107.1 121.6	108 122
便器回転率	男 = C_m 女 = C_f	95.0 40.0	
便器数	男小 $V_{m1} = N_{Lm} / C_m \times 0.8$ 男大 $V_{m2} = V_{m1} \times 0.75$ 女 $V_f = N_{Lf} / C_f$ 身障者 $V_h = (V_{m2} + V_f) / 50$ ($V_{m2} + V_f \leq 200$ の場合)	0.9 0.8 3.1 0.1	1 1 4 1
洗面器回転率	男 = S_m 女 = S_f	360 215	
洗面器数	男 $V_{Sm} = N_{Lm} / S_m$ 女 $V_{Sf} = N_{Lf} / S_f$	0.3 0.6	1 1

係数はサービスエリアの観光部を参照

○都市公園技術標準解説書（令和元年度版）

公園のトイレの規模算定の方法は、「公園施設規模（収容人数）から便器数を算定する方法」を採用し、下記のとおりとした。

利用率は、1/30 を採用する。多くの人が利用することを想定して設定した。

R21 年度年間利用者数想定	: 10,138 人
月別のピーク人数	: 2,243 人 (5月)
平日利用者数	: 45 人 (5月)
休日利用者数	: 129 人 (5月)
同時滞在者数 (最大値)	: 6 人 (5月 休日) ※

$$\text{計算式} : 6 \text{ 人} \times 1/30 = 0.2 \text{ 穴} \approx 1 \text{ 穴}$$

この算出に使用している同時滞在者数は、キャンプ利用者の人数を加味していない現状の来訪者ベースの推移であるため、この数値は採用しない。

※営業時間を 8 時間、平均滞在時間を 20.9 分として計算（新設キャンプ場のトイレについては別途設置予定）

4.4. 図面・パース

整備計画案の考え方は下記のとおり。

- ・トイレや駐車場、遊歩道など既存施設を改修して整備を行う。
- ・駐車場から御屋敷跡、虎御前の墓への誘導サインを設置する。
- ・のちにキャンプ利用もできるように、広場の一部に張芝を行う他、炊事場を設置する。また、既存の公衆トイレがキャンプ場エリアから遠いため、バイオトイレを設置する。
- ・園地内は排水不良のため、張芝を行う部分は排水対策を行う。
- ・キャンプ利用の受付などは春日山城跡ものたり館で行う。



▶整備計画案



▶整備イメージ図

第5章 虎御前の墓周辺の活用

5.1. 現況の把握

上杉謙信公の母と伝わる虎御前の墓と伝えられている五輪塔がたたずむ。

令和 3（2022）年に春日山城跡保存整備促進協議会が解説サインを設置している他、新しく設置された誘導サインも各所に見られる。

冬期は通行不可である。



▶五輪塔と解説サイン



▶誘導サイン

5.2. 整備の基本方針

既存サインは虎御前の墓周辺にあることから、愛宕谷公園からの誘導サインを追加で整備を行う。

誘導サインの整備

5.3. 整備機能

5.3.1. 関連計画での位置づけ

春日山地域観光コンテンツ計画においてまとめた観光インフラ・観光コンテンツを下表に示す。

▶春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付け

順位付け	カテゴリー	施設名	観光インフラ	観光コンテンツ
3	周遊コース	虎御前の墓	案内の整備	-

5.3.2. 機能

春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付けから、本施設に必要な機能を整理した。

▶整備設備・施設・機能

観光インフラ・観光コンテンツ	機能	整備内容
案内の整備	サイン	愛宕谷公園駐車場からの誘導サインの設置

5.4. 図面・パース

整備イメージ図を以下に示す。



▶整備イメージ図

第6章 御前清水周辺の活用

6.1. 現況の把握

平成 16（2004）年に地元有志によって石造りの水汲み場として整備された。

新潟県の名水に選定されており、記名サインはあるが、どういう謂れがあるかという解説サインはない。

▶施設状況

項目	有 無	状 態	備 考
トイレ	なし	-	-
大手道駐車場	あり	砂利	20 台程度



▶御前清水

6.2. 整備の基本方針

解説サインの整備を行う。

御前清水の解説サイン整備

6.3. 整備機能

6.3.1. 関連計画での位置づけ

春日山地域観光コンテンツ計画においてまとめた観光インフラ・観光コンテンツを下表に示す。

▶春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付け

順位 付け	カテゴリー	施設名	観光インフラ	観光コンテンツ
3	周遊コース	御前清水	案内の整備	-

6.3.2. 機能

春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付けから、本施設に必要な機能を整理した。

▶整備設備・施設・機能

観光インフラ・観光コンテンツ	機能	整備内容
案内の整備	サイン	解説サインの整備を行う

6.4. 図面・パース

整備イメージ図を以下に示す。



▶整備イメージ図

第7章 林泉寺駐車場等周辺の活用

7.1. 現況の把握

7.1.1. 来歴

林泉寺は、上杉謙信公の祖父である長尾能景が、父・重景の菩提を弔うため明応6（1497）年に建立した寺院で、上杉謙信公はここで名僧、天室光育の教えのもと、7～14歳までを過ごした寺院である。

惣門は市指定文化財で、春日山城の裏門を移築したと伝えられている。山門は大正時代に再建され、掲げられている「春日山」、「第一義」の扁額は上杉謙信公の自筆額（市指定文化財）のレプリカである。

7.1.2. 現状

林泉寺に隣接している市営駐車場は、大型バスの駐車ができるが、林泉寺線の幅員が狭く、大型バスと乗用車のすれ違いは難しい。この林泉寺線は、令和11年（2029）度までに、道路事業において歩道造築工事に着手することが計画されている。

設置されているトイレにはバリアフリースイレがない。トイレは昭和63（1988）年に設置された。

▶施設状況

項目	有無	状態	備考
トイレ	有り	老朽化	バリアフリースイレなし 浄化槽（50人槽）
駐車場	有り	普通	小型車30台 大型バス10台 ※同時駐車台数ではない。



▶駐車場



▶トイレ

7.1.3. 整備の基本方針

駐車場及びトイレの整備を行う。

林泉寺来訪者のトイレを整備

7.1.4. 整備機能

(1) 関連計画での位置づけ

春日山地域観光コンテンツ計画においてまとめた観光インフラ・観光コンテンツを下表に示す。

▶春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付け

順位付け	カテゴリー	施設名	観光インフラ	観光コンテンツ
3	周遊コース	林泉寺	・案内の整備 ・駐車場、トイレ	文化財等の展示

(2) 機能

春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付けから、本施設に必要な機能を整理した。

▶整備設備・施設・機能

観光インフラ・観光コンテンツ	機能	整備内容
案内の整備	バス停	既存駐車場にバス停を設置
駐車場・トイレ	駐車場・トイレ・駐輪場	・駐車場は規模算定により整備の必要性を確認する。 ・バリアフリートイレの増設 ・トイレの規模算定に合わせた再整備 ・レンタサイクルで回遊する来訪者用の駐輪場を整備する。
文化財等の展示	-	林泉寺の宝物館の展示で対応

(3) 利用人員

利用人員の算出は春日山地域回遊観光計画第3章で記載のとおり、令和21(2039)年度で年間113,560人を想定している。

(4) 概略必要面積

設計要領と都市公園技術標準解説書で規模算定を行った結果、いずれも既存トイレの穴数で足りることが確認できたため、既存の穴数にバリアフリートイレを追加し整備することとする。トイレの面積は既存と同じ56㎡にバリアフリートイレを増設することとする。

▶既存トイレ穴数

項目	大便器	小便器	合計
男用	1	4	5
女用	4	-	4
バリアフリー	-	-	-
合計	5	4	9

▶トイレの穴数と面積

項目		数量	項目	算出式	必要数	面積
トイレ数	男(小) V m1	4	面積表	男小: 3.0㎡ × V m1	4	12
	男(大) V m2	1		男大: 5.4㎡ × V m2	1	5.4
	女 V f	4		女: 5.4㎡ × V f	4	21.6
	バリアフリー-V h	1		男女大型ブース V L : 8.8㎡ (男1女1)	0	0
	計	10		子どもコーナー V c : 6.1㎡ (男1 女1)	0	0
洗面器数	男 V S m	1		パウダーコーナー V p = 0.3 × V f = 2.1 3箇所 × 2.2	0	0
	女 V S f	1		洗面器: 3.0㎡ × V S m + 3.0 × V S f	2	6
	計	2		バリアフリー: 10.8㎡ × V h	1	10.8
				計	-	55.8

○東日本高速道路株式会社 設計要領による算定

駐車台数を基に、トイレ規模の算定を行った。以下に計算式を示す。

【便器数計算式】

便器数 = 駐車台数 × 車種構成率 × 回転数 × 平均乗車人員 × トイレ利用率 × 性別比率 × ピーク率 ÷ 便器回転率 × 洋式便器設置率

【洗面器数計算式】

洗面器数 = 便器数 ÷ 洗面器回転率

▶トイレ穴数算定

項目	算出式	算定結果	総合結果
駐車マス	P	16	
駐車回転数	r	2.4	
車種別駐車台数	$Pa = P \times r \times S$ (車種構成率)	35.3	
平均乗車人数	W	2.2	
立ち寄り数	$N = Pa \times W$	77.7	
トイレ利用率	u	0.72	
性別比率	男 = Dm	0.54	
	女 = Df	0.46	
ピーク率	男 = Pm	2.1	
	女 = Pf	2.8	
性別利用人数	男 $NLm = u \times N \times Dm \times Pm$	63.5	64
	女 $NLf = u \times N \times Df \times Pf$	72.1	73
便器回転率	男 = Cm	95.0	
	女 = Cf	40.0	
便器数	男小 $Vm1 = NLm / Cm \times 0.8$	0.5	1
	男大 $Vm2 = Vm1 \times 0.75$	0.8	1
	女 $Vf = NLf / Cf$	1.8	2
	身障者 $Vh = (Vm2 + Vf) / 50$ ($Vm2 + Vf \leq 200$ の場合)	0.1	1
洗面器回転率	男 = Sm	360	
	女 = Sf	215	
洗面器数	男 $VSm = NLm / SM$	0.2	1
	女 $VSf = NLf / Sf$	0.3	1

係数はサービスエリアの観光部を参照

○都市公園技術標準解説書（令和元年度版）

公園のトイレの規模算定の方法は、「公園施設規模（収容人数）から便器数を算定する方法」を採用し、下記のとおりとした。

利用率は、1/30 を採用する。多くの人が利用することを想定して設定した。

R21 年度年間利用者数想定	: 113,560 人
月別のピーク人数	: 25,124 人 (5月)
平日利用者数	: 506 人 (5月)
休日利用者数	: 1,449 人 (5月)
同時滞在者数 (最大値)	: 88 人 (5月 休日) ※

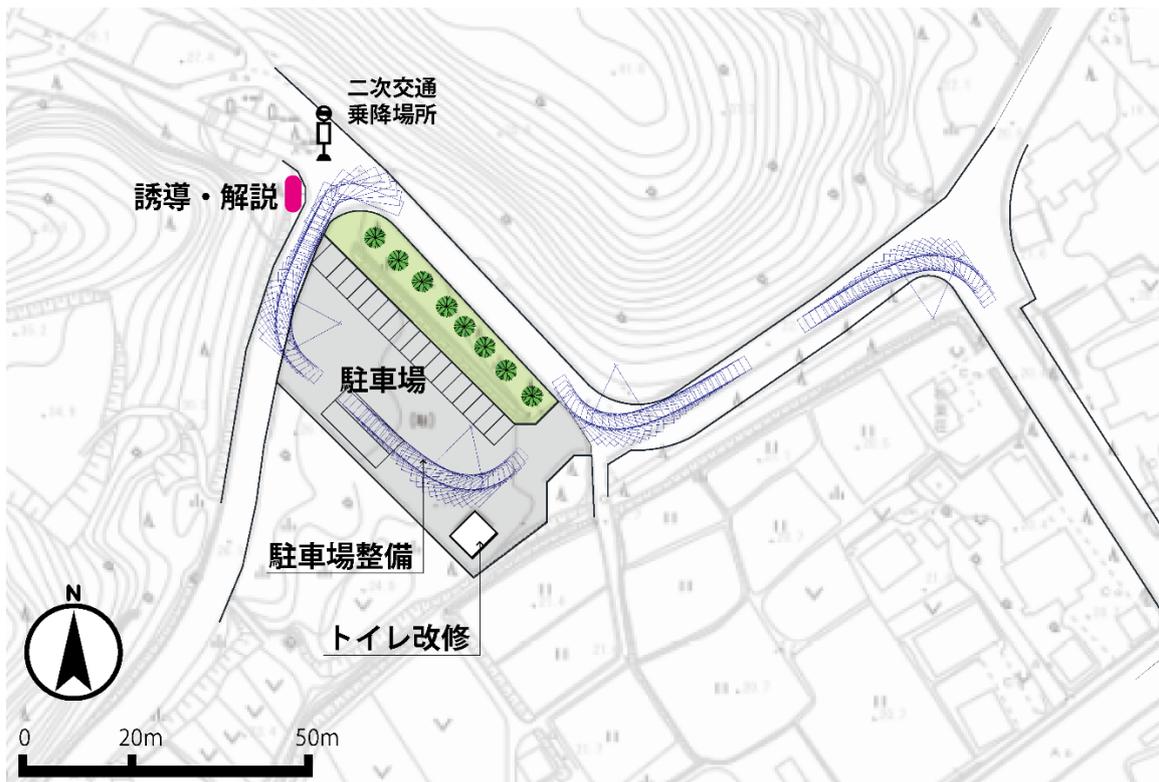
$$\text{計算式} : 88 \text{ 人} \times 1/30 = 2.9 \text{ 穴} \approx 3 \text{ 穴}$$

※営業時間を 6 時間 (10 時～16 時)、平均滞在時間を 22.0 分として計算

7.2. 図面・パース

以下に平面図（案）を示す。考え方は下記のとおり。

- ・本活用構想では道路事業における林泉寺線の歩道造築工事後の状況を想定して、検討した。



▶平面図（案）



▶整備イメージ図

第8章 春日山駅前周辺の活用

8.1. 現況の把握

8.1.1. 春日山駅

令和5（2023）年度の一日平均乗車人員は727人である。

▶春日山駅の施設現状

項目	有無	状態	備考
トイレ	有り	老朽化	和式 バリアフリートイレあり
駐車場	有り	普通	鉄道利用者用として小型車30台



▶駅舎



▶駅舎全景

8.1.2. 春日謙信交流館

春日山駅の前面に位置し、春日地区の公民館として、集会室、調理室、和室などがあり、市民の活動の場となっている。

▶施設状況

項目	有 無	状 態	備 考
トイレ	有り	良好	屋内トイレ
駐車場	有り	良好	小型車 50 台



▶駐車場



▶駅側広場

8.2. 整備の基本方針

観光目的の駅利用者が、わくわく感をもって春日山地域を散策する玄関口として整備する。

玄関口としての誘導を強化する

8.3. 整備機能

8.3.1. 与条件の整理

(1) 春日謙信交流館は改修しない。

春日謙信交流館では、案内機能の対応ができないため、機能の追加は行わず、敷地内に観光案内所を整備する。

(2) 市産材の利用

可能な限り市産材を利用した整備とする。

(3) 便器の洋式化

既存の駅前の公衆トイレが和式のため、誰もが快適に利用できるよう洋式化する。

(4) 春日山駅における公衆トイレの撤去・新設

現在の駅前の公衆トイレが、コンテナで簡易な構造のため、撤去・新設とする。

(5) 関連計画での位置づけ

春日山地域観光コンテンツ計画においてまとめた観光インフラ・観光コンテンツを下表に示す。

▶春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付け

順位付け	カテゴリー	施設名	観光インフラ	観光コンテンツ
4	インフラ機能	春日山駅	<ul style="list-style-type: none">・トイレ・休憩スポット・公共交通整備・駐車場、駐輪場・案内の整備	上杉謙信公の雰囲気を感じられる仕掛け
3	周遊コース	春日謙信交流館	<ul style="list-style-type: none">・トイレ・荷物の預け先・公共交通の整備・駐車場・駐輪場・観光案内機能（ツアー等の窓口機能を含む）・案内の整備	－

(6) 機能

春日山地域観光コンテンツ計画の魅力の順位付けから、本施設に必要な機能を整理した。

▶整備設備・施設・機能

観光インフラ・観光コンテンツ	機能	整備内容
トイレ	トイレ バリアフリー トイレ	駅前の既存のトイレを撤去して、新しく整備する。
休憩スポット	-	春日謙信交流館に設置
駐車場・駐輪場	-	<ul style="list-style-type: none"> 春日謙信交流館の既存駐車場を利用する。 本施設は車利用の来訪者を想定しない。
案内の整備	サイン	案内サインの設置
上杉謙信公の雰囲気が感じられる仕掛け	駅舎のラッピング	駅舎を、上杉謙信公を思わせるデザインでラッピングする。
荷物の預け先	コインロッカー	観光案内所にコインロッカーを設置
公共交通の整備	バス停・ロータリー	二次交通の発着場を整備する。
観光案内機能（ツアー等の窓口機能を含む）	観光案内所	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所を春日謙信交流館の敷地内に整備する。 観光案内の他、ガイドの申し込みや、レンタサイクルを行う場所として整備する。

(7) 利用人員

利用人員の算出は春日山地域回遊観光計画第3章で記載のとおり、令和21(2039)年度で年間65,981人を想定している。

(8) トイレ規模算定

設計要領と都市公園技術標準解説書で規模算定を行った結果、いずれも既存トイレの穴数で足りることが確認できたため、既存の穴数を踏襲する。しかし施設の老朽化も見られるため撤去新設とし、トイレの面積は 31 m²とする。

▶既存トイレ穴数

項目	大便器	小便器	合計
男用	1	1	2
女用	1	-	1
バリアフリー	1	-	1
合計	3	1	4

▶トイレの穴数および面積

項目		数量	算出式		必要数	面積
トイレ数	男(小) V m1	1	男小: 3.0m ² × V m1	1	3	
	男(大) V m2	1	男大: 5.4m ² × V m2	1	5.4	
	女 V f	1	女: 5.4m ² × V f	1	5.4	
	バリアフリー-V h	1	男女大型ブース V L : 8.8m ² (男1.女1)	0	0	
	計	4	子どもコーナー V c : 6.1m ² (男1 女1)	0	0	
洗面器数	男 V S m	1	パウダーコーナー V p = 0.3 × V f = 2.1 3箇所 × 2.2	0	0	
	女 V S f	1	洗面器: 3.0m ² × V S m + 3.0 × V S f	2	6	
	計	2	バリアフリー: 10.8m ² × V h	1	10.8	
			計	-	30.6	

○都市公園技術標準解説書（令和元年度版）

公園のトイレの規模算定の方法は、「公園施設規模（収容人数）から便器数を算定する方法」を採用し、下記のとおりとした。

便所利用率は、1/30 を採用する。主に公共交通利用者の出発点となるため、利用が多くなることを想定して設定した。

R21 年度年間利用者数想定	: 65,981 人
月別のピーク人数	: 7,934 人 (8 月)
平日利用者数	: 160 人 (8 月)
休日利用者数	: 458 人 (8 月)
同時滞在者数 (最大値)	: 47 人 (8 月 休日) ※

$$\text{計算式} : 47 \text{ 人} \times 1/30 = 1.6 \text{ 穴} \approx 2 \text{ 穴}$$

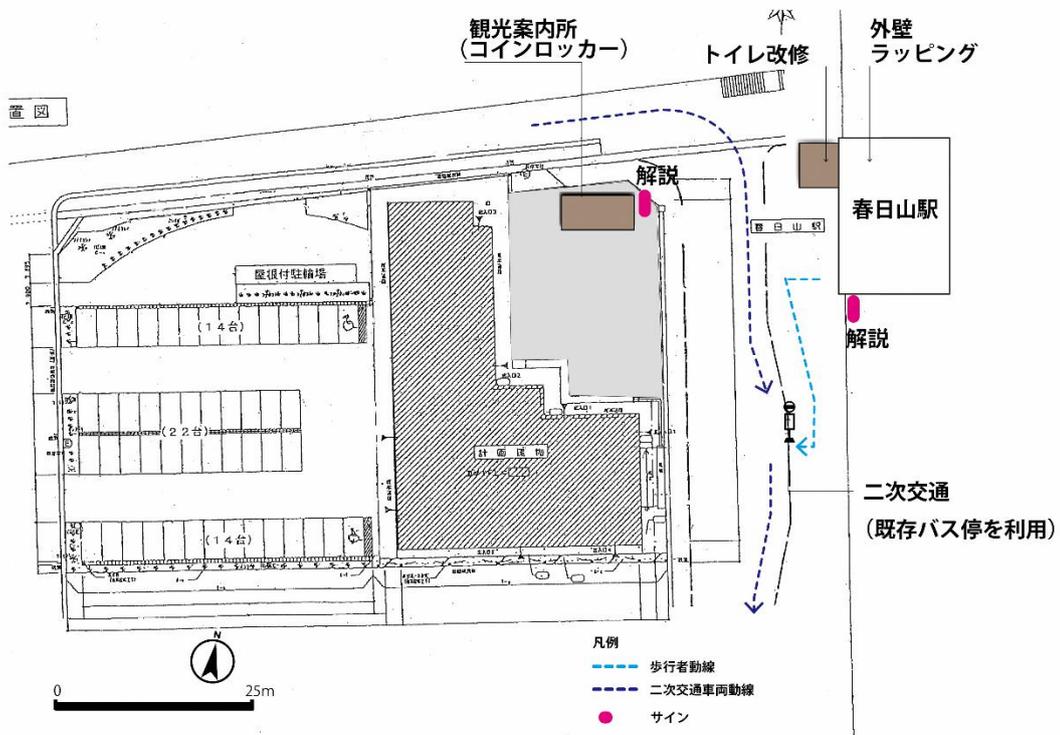
※営業時間を 8 時間、平均滞在時間を 49.6 分として計算

8.4. 図面・パース

8.4.1. 平面図（案）の検討

以下に平面図（案）を示す。考え方は下記のとおり。

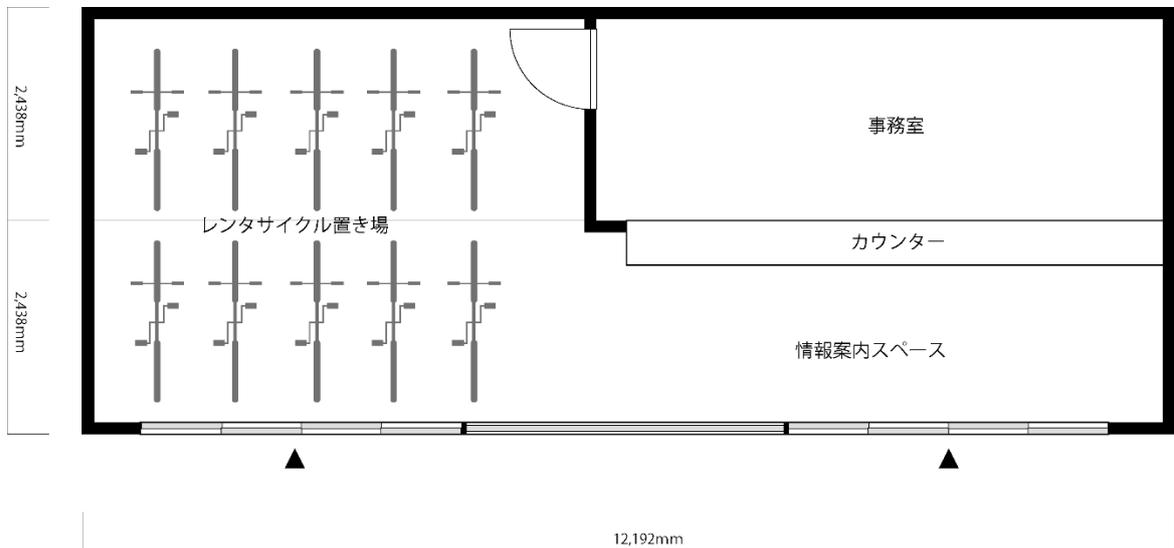
- ・公共交通の拠点となるよう、二次交通の発着場を整備する。発着場の設置箇所等については、関係法令を遵守し、検討するものとする。
- ・地域全体の案内、誘導可能なサインを設置する。
- ・観光案内機能として、広場に観光案内所を設置する。案内所は簡易的に設置できる40フィートコンテナを想定とする。



▶平面図（案）

8.4.2. 諸施設の配置平面図（案）

観光案内所の諸施設の配置平面図（案）を下図に示す。



▶諸施設の配置平面図（案）



▶整備鳥瞰



▶春日山駅ラッピングイメージ

春日山地域における既存施設の活用構想
令和7年7月策定

発行	上越市
編集	上越市文化観光部魅力創造課
	〒943-8601
	上越市木田 1-1-3
	TEL 025-520-5739
	FAX 025-520-5853